

北海道の動物を題材に多数のドキュメンタリーを制作 「生態」と「気象」の関係とは

報道部・沼田博光デスクが講演

2025年10月31日（金）

10月31日（金）、大手気象情報会社のウェザーニューズ（千葉市）で、報道部の沼田博光デスクが講演を行いました。

沼田デスクは、これまで北海道の動物を題材に多数のドキュメンタリー番組を制作していて、今回の講演は「気象予報士としての視点を持ちながら番組制作で培ってきた知見を、気象情報の発信に役立てたい」と依頼されました。

約100人の職員らを前に、台風被害を受けた競走馬の産地や、渡り鳥がもたらす鳥インフルエンザによる養鶏業への被害、発信器をつけて解明したオオジシギの北海道からオーストラリアへの渡りルートなど、12種の動物の生息環境を紹介し、密接に結びつく気象の関係について語りました。

風力発電の企業に風のデータを提供している職員からは「バードストライクについて詳しく知りたい」といった要望が出るなど、講演後の質疑応答も活発に行われました。

沼田デスクは「環境への意識の高さがうかがえました。アプローチは違っていても、地球の未来を良くしたいという方向性は同じだと感じました」と話しています。

